



G-7グループが取り組む サステナビリティ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



G-7グループ

サステナビリティへの取り組み

■G-7グループのサステナビリティの考え方

人間尊重を経営基盤とし、顧客第一主義、現地現場主義によって顧客・株主・社員・地域社会等のステークホルダーの満足度向上に向けた経営を実践し、社会に貢献して参ります。サステナビリティに関する社会の期待や要請に応えるためには、各事業の強みを生かし持続可能な社会へ貢献することが、当社グループの長期的な成長につながると理解し行動しています。

■サステナビリティ経営のメリット

社会問題に
取り組むことで
事業領域の
開拓をする

グループの
ブランド価値が
向上する

従業員満足度
向上の拡大

G-7グループ 本社



G-7グループ

サステナビリティへの取り組み

重要項目の選定プロセス

STEP1

課題と認識

環境(E)や社会(S)に関する課題を認識し、それに係るリスクと機会を検討します。

STEP2

分析と抽出

STEP1の課題について、重要度を分析します。

STEP3

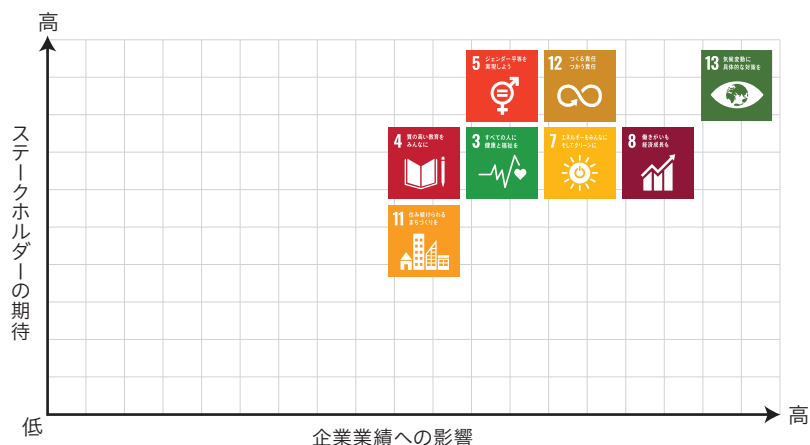
妥当性の検証

STEP2で抽出した課題について、様々な視点から妥当性を検討します。

STEP4

マテリアルの選択と重要項目の特定

ステークホルダーの期待と企業業績への影響に鑑み、8つのSDGsをマテリアルであると認識しました。



G-7グループ

サステナビリティへの取り組み

■G-7グループが取り組む 「ESG」課題解決の考え方

企業価値をE(環境)の観点から表現すると、消費者・取引先・生産者を巻き込んだ行動が起こせるか否かが重要であります。脱炭素社会の実現に向けて店舗でのエネルギー使用量を削減し、再生可能エネルギーの利用を目標とします。また生産・調達(仕入)過程の中でのCO₂排出量・エネルギー削減に努力します。また、フードロスや在庫商品の廃棄削減・リサイクル商品の活用・プラスチックごみの削減も重要課題として、消費者の環境意識向上を促すことで、地域の活性化、少子高齢化社会におけるインフラの提供、健康活動の支援といった面でも小売業界として役割を果たす事に努力します。

企業価値をS(社会)の観点から表現すると、消費者や地域社会との関わりが深く、果たすべき役割、影響力が大きいことを認識して、商品が生産者段階から消費者の手に届くまで、持続可能なフランチャイズチェーン・サプライチェーンを構築することに必要性を認識し、取引先の状況把握・管理も必要なものとして取り組む姿勢を表します。

企業価値をG(企業統治)の観点から表現すると、当社では、意思決定、執行、監督の機能が独立性を保ちつつ、組織が有効に効率的に機能するよう配慮しており、ガバナンスの強化を図っています。リスクマネジメント体制強化は、取締役・事業会社社長の月次コンプライアンス委員会にて、経営の情報改革を図りスピード解決に努めている。消費者の環境意識やライフスタイルの変化に対応し、ダイバーシティリスクを低減させながら持続的成長を果たすために経営の強化を図っています。



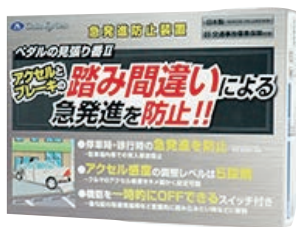
目標3

全てのの人に健康と福祉を

■当社グループでは、フードドライブ活動を年1回実施しています。この活動は、社会的弱者の方々に食材や衣服及び日用品などを寄付するものです。今後、活動頻度を上げることで今まで以上に健康福祉活動に注力して参ります。また、児童福祉施設・児童支援施設に対するリクリエーション活動なども継続して実施致します。

■目標3には、世界の交通事故死を半減するというターゲットが掲げられています。当社グループでは、このターゲットを達成するべく以下の3点の取組みを行っております。

- ・車検を求められない原付第一種、第二種、軽二輪車のドライバーに12か月点検を啓発することで「車両の安全性確保」に取り組んでいます。
- ・近年増加しているアクセルペダルの踏み間違いによって発生する重大事故を回避するために、「安全装置の積極的な販売と正確な取り付け作業」を実施しています。
- ・社有車にドライブレコーダー装着を引き続き推進するとともに、店舗での積極的な販売を実施しています。これによって、「交通事故の防止、事故が起きた場合の早期解決、事故につながるような運転行為の抑止」に努めています。



■目標3には、タバコに関する世界保健機関枠組条約の実施というターゲットが掲げられています。当条約の目的の一つは、受動喫煙の防止にあります。当社グループでは、店舗内を全面禁煙にすることで受動喫煙の防止を図っております。



目標4

質の高い教育をみんなに



- 目標4には、全ての子供が質の高い教育を修了するというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、子供たちの安全教育の一環として、タイヤ交換などの作業体験を提供しています。



- 目標4には、職業的スキルに基づく働き甲斐のある仕事、十分な技能を備えた専門職業人の割合を高めるというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、従業員の早期退職などを防止し、職業的スキルを備えた専門職業人を多く育成するために、同期入社の従業員に対するグループ研修を年4回実施することで仲間意識を高めながら、各人の職業的スキルを長期にわたって向上させる働き甲斐のある職場を形成しています。

- 目標4には、2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事および起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させるというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、技能実習生を受け入れ 技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事および起業に必要な技能を備えた若者と成人の育成に努めています。





ジェンダー平等を実現しよう



- 目標5には、女性に対する差別の撤廃と能力強化のための適正な政策等を求めるとともに、ジェンダー平等の促進を図るというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、過去の職人意識の風潮を職場から排除し、適性に応じた仕事の配置を実施しています。また、実施した職務内容に基づいてジェンダー平等な人事評価制度を継続的に確立しています。

- 目標5には、意思決定の局面において、完全かつ効果的な女性の参画と平等なリーダーシップの機会を確保するというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、男女雇用機会均等法に基づいた採用、仕事内容、給与等の平等性を確保しています。また、各店舗においては、ジェンダー平等の理念の下、プロジェクトチームのリーダーを選出し、ボトムアップ方式による女性がリーダーとして活躍できる環境を作っています。このように女性が経営に参画し、リーダーシップを発揮できる環境にあり、ホールディングス傘下の事業会社では、1名の女性取締役を選任しております。

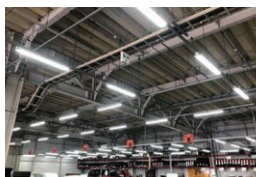




エネルギーをみんなにそしてクリーンに ■

■目標7には、再生可能エネルギーの利用割合を大幅に拡大すること、エネルギー効率の大幅な改善というターゲットが掲げられています。

当社グループでは、2021年に新社屋屋上にソーラーパネルを設置し、太陽光エネルギーの利用割合を向上させています。また、社有車を電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）に速やかに変えていきます。店舗においても照明のLED化を推進することでエネルギー効率を改善し、消費電力の削減とCO₂排出量の削減を進めています。また、お客様にご利用頂ける電気自動車充電スタンドの設置（オートバックス木更津金田店には設置済み）を推進していきます。



■目標7には、クリーンエネルギーの研究と技術の強化、投資の促進というターゲットが掲げられています。

当社グループでは、廃タイヤを回収し、それを専門業者に委託して選定・破碎を行ってエネルギー源としてリサイクルしています。また、廃オイル・廃バッテリー等も素材別に分別のうえ、専門業者を通じた再資源化につなげています。



目標8

働きがいも経済成長も



- 目標8には、全ての人に働き甲斐のある仕事と同一労働同一賃金を達成するというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、労働の質と量ともにジェンダー格差はなく、同一労働同一賃金を達成しています。また、海外留学生を採用し国籍、移住労働者の区別なく、労働環境面、同一雇用労働条件、同一賃金による雇用創出を継続していきます。

継続した教育による従業員の能力向上と新規出店に伴う雇用の拡大を行っていますが、若年者の退職者を減少させ、定着率を向上させるために、定期的な人事面談（フォローアップ面談）などの具体的な施策を継続的に実施していきます。加えて、定年延長による安定した収入を提供するための人事制度を継続していきます。

- 目標8には、金融サービスへのアクセス促進・拡大というターゲットが掲げられています。

当社グループでは、各種資格の取得を全面サポートしており、資格取得者に資格手当を支給しています。

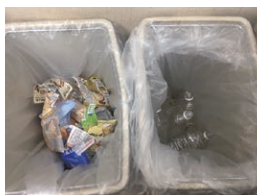




住み続けられるまちづくりを

■目標11には、包摂的かつ持続可能な都市化の促進と居住計画・管理の強化というターゲットが掲げられています。

当社グループでは、地域社会に貢献し、居住環境の改善を図るためにオートバックスデーでは店舗の周辺道路を清掃しています。また、周辺道路をスタッフ全員で清掃することで、地域の住みやすさを促進しています。ごみ処理についても、それぞれの地域社会で定められた分別方法に従って処理し、ペットボトルのラベルやキャップの分別まで行っています。



■目標11には、廃棄物管理等によって環境上の悪影響を軽減するというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、店舗での在庫管理高度化によって廃棄する商品の削減を図っており、廃棄物の適正な分別処理と合わせて環境への配慮を行っています。また、マニフェスト（産業廃棄物管理票）に沿って、廃棄後の適切な分別・処理をトレースすることで、廃棄物の削減と分別廃棄に努めています。



つくる責任つかう責任



- 目標12には、食料廃棄を大幅に減少させるというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、商品管理の適正化を実施することで食品の廃棄ロスを削減するとともに、神戸市社会福祉協議会との協働によって賞味期限間近の食材を子ども食堂などに提供することで、廃棄ロスの削減と社会的弱者保護、地域社会への貢献を両立させていきます。

- 目標12には、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用によって廃棄物を大幅削減するというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、このターゲットに貢献するべく以下の4点の取組みを行っております。

- ・日本国内の自動車車体の廃車及びリサイクル可能なパーツを各受入国のルールに基づいて輸出することによって、資源の再利用を促進しています。
- ・安価なリビルトパーツを使用することで廃棄物を削減し、リユースを促進しています。また、交換を終えた古い部品は、メーカーに返送することで再度リビルト交換部品として再販されることによって、廃棄物削減に大きく貢献しています。
- ・工事現場から発生する産業廃棄物を循環させるために、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を促進していきます。また、マニフェスト【産業廃棄物管理票】に沿って、その後の適切な分別・処理をトレースすることで、廃棄物の削減と分別廃棄に努めています。
- ・レジ袋の使用を減らし、エコバックの利用を促進しています。





気候変動に具体的な対策を



■目標13には、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応力を強化するというターゲットが掲げられています。

当社グループでは、社用車を電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）にすること、店舗の照明をLEDにすること、再生可能エネルギー



の利用を優先していくことでCO₂排出量を削減・抑制することによって脱炭素に貢献し、気候関連災害や自然災害の発生を抑制しています。

また、アウトドア事業を通じ、オートキャンプ場の運営に取り組んでいきます。オートキャンプ場は、災害時などの避難場所として使用できるように整備していきます。